



### いばらきの味覚

#### しじみパスタ

肉厚で栄養価が高い「ひぬまやまとしじみ」

養分が豊かな酒沼および酒沼川は、全国有数のしじみ漁場のひとつ。

その中でも地元の漁業協同組合が設ける基準を満たしたシジミを、「ひぬまやまとしじみ」のブランド名で販売しています。

#### 主な内容

- ▼ 死亡災害ゼロ大会を開催
- ▼ 支部対抗ゴルフ大会で腕競う
- ▼ 初の ICT 土工研修会実施

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 職場の安全管理体制向上へ

## 建設業死亡災害ゼロ大会を開催

建設業労働災害防止協会茨城県支部（石津健光支部長）による平成30年度建設業「死亡災害ゼロ」推進大会が6月19日、水戸市の県建設技術研修センターで開催されました。大会では、労働災害防止対策や安全管理の講話が行われ、死亡災害ゼロの推進を誓う大会決議を採択。参加した約200人の参加者は、安全・健康・快適な職場づくりに取り組むことを誓い合いました。



石津支部長



田澤茨城労働局  
労働基準部長



金澤県土木部  
監理課副参事

主催者あいさつで石津支部長は、本年の死亡災害数が昨年を大きく上回っていることを憂慮し「労働災害をなくして安心して働ける職場環境をつくることが重要。経営者のリーダーシップのもと、社員が一丸となり、安全を最優先とする意識を互いに共有し、安全文化をより一層定着させ、労働災害に向かって取り組んでいく必要がある。本日の大会を契機に、安全意識の高揚や着実な安全活動の実行など、それぞれの職場の安全管理体制を一層改善・向上させてほしい」と話しました。

来賓では、田澤修二茨城労働局労働基準部長が県内建設業の労働災害状況について話したほか、県土木部監理課の金澤竜司副参事が「建設業をさらに魅力と活力ある産業にしていくなために、労働災害を減らしていかなければならない。皆さまのリーダーシップにより労働災害が減少することを期待する」と述べました。



続いて、茨城労働局労働基準部健康安全課の大津徳男主任地方産業安全専門官が「第13次労働災害防止推進計画」について講話。県内の労働災害の現状や建設業の死亡災害事例を説明するとともに、熱中症の防止、転倒災害の撲滅に向けた取り組みなどについて話しました。

特別講演では、矢崎労務安全事務所の矢崎敏郎所長が「不安全行動は防げる！」と題し、ヒューマンエラーの要因などについて心理学的側面から解説。

最後に荒川繁美氏（水戸土工建工業(株)代表取締役）が大会決議を読み上げ、全員が絶対無事故を再確認しました。

### 特別講演 不安全行動は防げる！



矢崎労務安全事務所 矢崎敏郎所長

「生命は尊貴である。1人の生命は全地球よりも重い」（最高裁判決文）という言葉を目に銘じ、災害防止に努めていただきたい。

# 腕競い親睦深める

## 第4回支部対抗 チャリティーゴルフ大会

第4回支部対抗チャリティーゴルフ大会を6月15日に笠間市のスタート笠間ゴルフ倶楽部で開催し、各支部からの参加者32組125人が新ペリア方式で腕を競い合いました。当日



日本赤十字社茨城県支部に  
善意を贈呈



境支部が初優勝に輝いた

はあいにくの雨模様でしたが、各ホールで熱戦が繰り広げられ、団体戦では境支部が初優勝に輝きました。個人戦では常陸大宮支部の増子秀典氏が見事優勝しました。

このゴルフ大会は、チャリティーと会員相互の親睦を目的に、平成27年から開催しています。



チャリティーへのご協力  
ありがとうございました

プレー後の表彰式で石津健光会長は「素晴らしいゴルフが繰り広げられ、楽しい1日を過ごさせていただいた」と参加者を称えました。集まったチャリティー金は、日本赤十字社茨城県支部などに贈呈しました。



雨天の中でも好プレーが続出



名門スタート笠間ゴルフ倶楽部で熱戦を展開



競技終了後にはお互いに健闘を称え、親睦を深めた

# 初のICT土工研修を開催

座学と実技で密度の濃い内容に

本会は6月12、20、21、27、28日の5日間にわたり、平成30年度第1回i-Construction対応ICT土工研修を水戸市の県建設技術研修センターなどで開催しました。座学や実技を通してICT活用工事の全てのプロセスを学びました。

開催に先立ち、石津健光会長は「皆さんは当会が開催するICT土工研修の第一期生。本研修で学んだ知識、技術を社内で共有し、ICT活用工事に生かしてほしい」と期待を寄せました。

続いて、国土交通省関東地方整備局企画部の東川直正部長と県水戸土木事務所の肥高孝之所長から激励の言葉をいただきました。

講義では各講師がi-Constructionの全体像や導入現場の状況などについて話しました。

20日からは日立建機ICTデモサイト（ひたちなか市）での実技も加わり、ICT建機への試乗やドローン操縦などを行うとともに、3次元施工図作成や3次元点群データによる土量計算など



石津会長



東川関東地方  
整備局企画部長



肥高県水戸土木  
事務所長



を行い、非常に密度の濃い研修となりました。

この研修は、厚生労働省の人材開発支援助成金の対象で、次回は10月の開催を予定しています。適切な時間を確保するため定員は15人まで。詳細は本会までお問い合わせください。



## 岡部前会長らの功績称える 長年にわたり建設業界に貢献



岡部前会長



松山前副会長

本会の岡部英男前会長（現名誉会長）の長年にわたる建設業界への貢献に対し、全国建設業協会（近藤晴貞会長）から設立70周年記念功労者として感謝状が贈られました。誠におめでとうございます。ますますのご活躍をご祈念いたします。

6月18日に水戸市内で感謝状伝達式が執り行われ、あわせて県建設業協会会長表彰として、石津健光会長から岡部前会長と松山恒男前副会長に感謝状が贈られました。

### 岡部前会長の話

皆さまのご支援・ご協力をいただきながら、会長職を16年間務めさせていただきました。心より感謝申し上げます。

### 松山前副会長の話

多くの皆さまとお付き合いさせていただいたことは、これからの私の人生にとって大きな宝物です。

## 社会人の心構え学ぶ

### 新規入職者研修開く

本会は6月8日に平成30年度の新規入職者研修を水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。本会会員などから120人以上が参加。

社会人の心構えや建設産業の現状、あいさつまナーなどを学ぶとともに、「交流と自己啓発」についてのグループ研究も行い、「建設人」としての自覚を高めました。

この研修は、建設雇用改善事業の一環として、本年度に建設業に入職した新人の定着を図るために行うものです。昨年度に引き続き、「県建設産業

担い手確保・育成ネットワーク協議会」のつながりを活かし、県建設産業団体連合会の会員企業などからも参加者が集まりました。



## 普通科高校インターンシップ実施

潮来支部の  
2社が受け入れ

本会は普通科高校を対象としたインターンシップ（就業体験）を6月14日、15日の2日間にわたり実施し、県立神栖高校の2年生7人を神栖市内の会員企業2社（常総開発工業㈱、小若建設㈱）が受け入れました。



この取り組みは、建設業の人材確保・人材育成に向け、将来を担う若者たちに建設業への理解と関心を深めてもらおうと、普通科高校を対象に2015年度から行っているもので、神栖高校で



は3年連続の実施となりました。

体験に参加した生徒は、担当者から操作方法を教わり、実際に重機に試乗。「建設業に対する興味が深まり、進路を決める上で参考になった」などの声が挙がりました。

## 会長に石津本会会長が就任

県建設産業団体連合会が総会



県内の建設関連団体で組織する県建設産業団体連合会は6月7日、平成30年度定時総会を水戸市内の県建設センターで開催。30年度の事業

計画などを承認しました。

30年度 of 主な事業計画は①全国建設産業団体連合会への参加②各種講習会等の開催（経営者研修会、建設業の適正取引に関する講習会、社内IT化スキル講習会、ドローン操縦などICT関連講習会）③建設フェスタへの参加④各種刊行物の配布—などとなっております。

また、関係団体と連携しながら、社会資本整備の計画的な推進の必要性の働き掛け、積極的な広報活動・イメージアップ活動などを実施していきます。

このほか、任期満了に伴う役員改選では会長に石津健光本会会長を選出しました。

## 委員会活動報告

### 雇用管理改善など推進

#### 人材開発委員会



人材開発委員会（高橋修一委員長）は6月5日、協会本部で会合を開き、平成30年度の事業計画などについて話し合いました。30年度は雇用管理改善など魅力ある職場環境づくりに関するセミナーの開催を予定しているほか、人材の確保・育成に関する取り組みを推進します。

### 発注機関と意見交換

#### 経営企画委員会



経営企画委員会（佐々木孝夫委員長）の本年度第1回会合が6月11日に開かれ、事業計画などについて話し合いました。平成30年度は入札契約制度改革への対応、品確法およびその運用指針などに関する提言・要望のほか、勉強会や発注機関および関連団体との意見交換などに取り組みます。

## 委員会活動報告

### 講習会や研修会開催

#### 建築委員会



建築委員会（小薬拓巳委員長）は6月19日、平成30年度の事業計画などについて本会本部で協議しました。30年度は講習会・研修会の開催などを実施する計画で、建築工事における安全施工確保、建築業における経営力の強化および技術力向上への取り組み、耐震化・免震化への対応、研修視察なども実施していく方針です。

潮来支部  
活動報告

### 災害ゼロ推進へ 安全大会開く



潮来支部（松崎里志支部長）は、第16回鹿行地区建設業安全大会を6月26日に神栖市平泉コミュニティセンターで開催しました。

本会会員や同地区管内の発注官庁の代表など約250人が参加し、労働災害防止活動で特に功績のあった事業所への表彰、安全標語表彰などを挙行するとともに、労働災害防止についての講話が行われました。

## 貴重な血液提供・献血で社会貢献

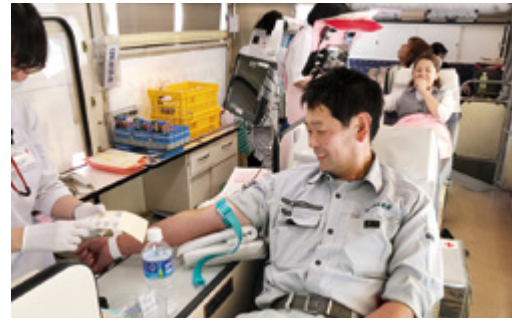
### 常総支部



常総支部（中川原勇支部長）は6月21日、支部会館で献血活動を行い、支部員など96人が参加しました。この活動は地域貢献活動の一環として例年行われているもので、ことしで15回目となります。

また、当日は目の不自由な人が視力回復できるよう角膜のあっせんを行う公的機関アイバンクへの登録啓発活動にも協力しました。

### 筑西支部



筑西支部（柴勝支部長）は6月25日、支部会館駐車場で献血活動を実施しました。主旨に賛同した支部員など55人が参加し、貴重な血液を提供しました。

この活動は地域社会への貢献活動の一環として行われているもので、建設業のイメージアップなどを目的として平成28年度から取り組みを開始し、今回で3回目となります。同支部は「今後も継続し、活動を定着していく」方針です。

### 会員の動向

#### 〈代表者変更〉

- ▽ 常陸大宮支部  
増子建設(株) 増子 妙子 → 増子 秀典
- 山金建設(株) 山本 茂夫 → 山本 敦
- ▽ 高萩支部  
茨城日鉦建設(株) 金子 和男 → 千葉 泰紀
- ▽ 土浦支部  
飯田建設工業(株) 後藤 光一 → 後藤千代美

### ちよつと一言



近年、夏の暑さは厳しさを増し、35度を超すことも多く、地域によっては40度を超す記録的な暑さが連日報道されるようになりました。それにとまって、増加しているのが「熱中症」です。熱中症は、応急処置の速さも大切ですが、やはり予防が最も重要です。熱中症を予防するためには、熱中症にかからないようにする体を作ることが大切です。その基本となるのが、食生活です。1日3食バランスのとれた食事と適度な水分補給によって、健康維持を心がけましょう。 (K)